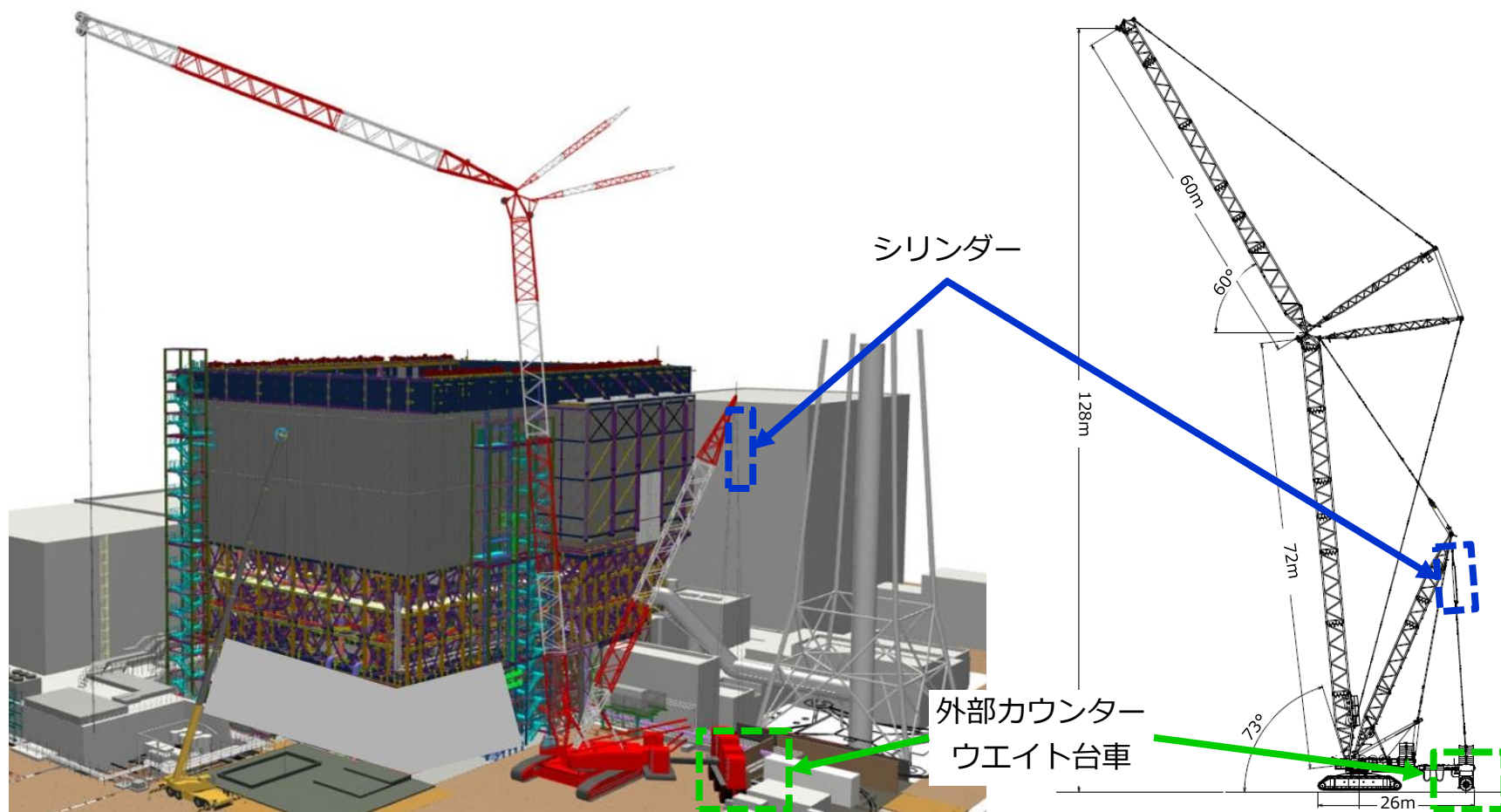


- 6月16日、大型カバー鉄骨ブロック（ボックスリング）を1250tクローラークレーン（以下、クレーン）で1号機原子炉建屋東側へ設置している際に、クレーンの巻き下げ操作ができない状態を確認。
- 調査において、クレーンの油圧系統内に異物を確認。当該異物が混入したことにより必要な油圧を確保できないため、巻き下げ操作ができない状況であることを確認。
- その後、油圧コントロールユニットの交換、クレーンの作動油の交換ならびにフラッシングを実施し、クレーンの巻き上げ・巻き下げ操作に問題がないことを確認。
- 6月24日、クレーンとボックスリングの接続を解除し、吊天秤を地上に降ろし完了。

＜以上、6月24日にお知らせ済み＞

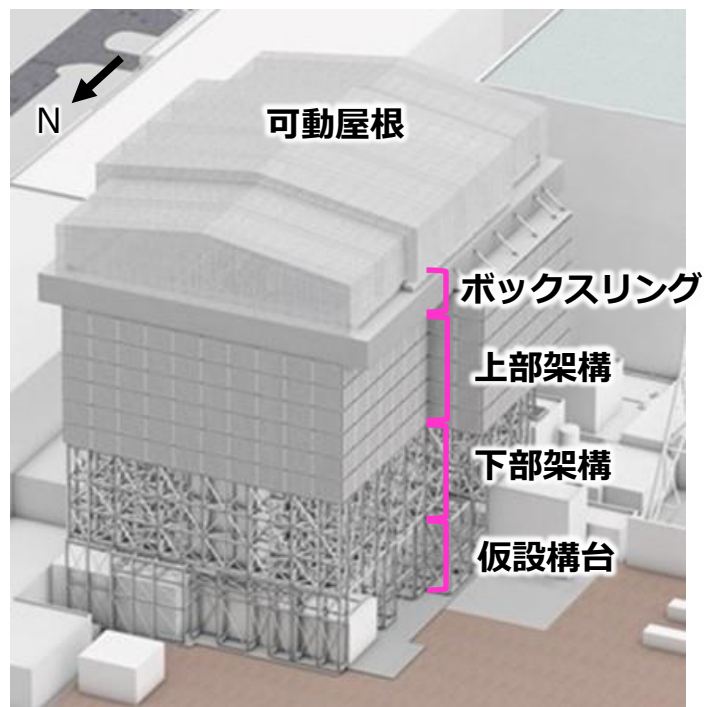
- 6月27日、クレーンの外部カウンターウエイト台車の接地圧を調整するシリンダー[※]の動作不良を確認した。
- 今後、作業中における不具合の防止に向けて、一旦作業を立ち止まり、原因を調査している。
- なお、当該クレーンに吊り荷はなく、安定した姿勢を維持できる状態である。

※カウンターウエイトの接地圧を一定に調整する機器

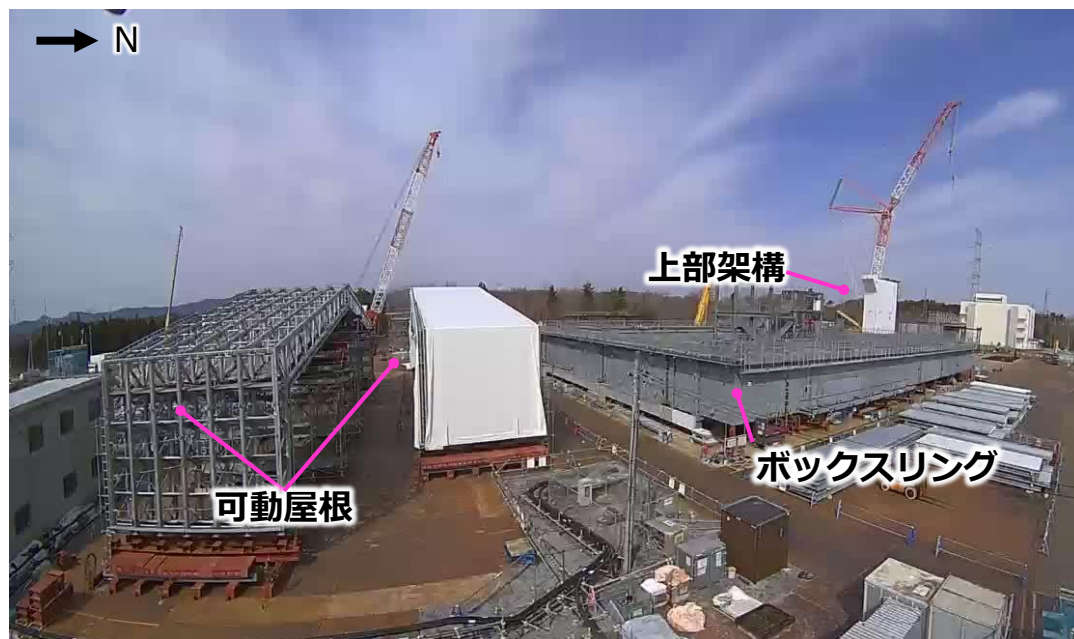


1号機大型カバー全体イメージ

1250tクローラークレーン



大型カバー全体の概要図



構外ヤードの状況（撮影：2025年3月24日）